

事業所名

児童発達支援むすびめ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R8

年

2月

5日

法人（事業所）理念	個性に寄り添い、認めて褒める				
支援方針	運動や遊び、勉強の「できた」という喜びを味わえるようにします。また友達との関わり方を学び他者の気持ちが理解できるように支援し、通所が楽しみの場になること目指します。				
営業時間	9時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康管理：毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気づけるよう、観察をします。 身辺処理：登降所時の身辺処理（靴の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など）を、習慣化できるようにします。 視覚支援：1日の流れやイベントの説明などは視覚支援を用いるなど、利用者様の分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができますようにします。 個別支援：生活の中での課題を利用者様やご家族様から伺い、個別支援として取り組みます。			
	運動・感覚	集団活動：運動やダンス、サーキットなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、様々な体験を提供します。 個別支援：日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。			
	認知・行動	課題提供：利用者様の特性や能力を観察し、色や数字、物品などの様々な概念を獲得するための課題を提供します。 支援の提供：認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことでこだわりや忌避感を軽減できるようにします。また、子どもたちが認知しやすく、解釈しやすくように環境を整えます。 集団活動や製作活動：集団活動や製作活動を通じて、各感覚を刺激し、興味の幅を広げることができるようにします。			
	言語 コミュニケーション	子どもの特性に応じた課題設定：子どもの特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 インリアルアプローチの活用：自然な環境や日常生活の中でコミュニケーションスキルを向上させることを基本とし、コミュニケーションの経験を積みみます。 非言語コミュニケーション手段の獲得支援：絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を目指します。			
	人間関係 社会性	気持ちに寄り添った言葉かけ：子供たちの感情に寄り添い、共感する言葉を使うことで安心感を与え信頼関係を築きます。職員が見本となり他者との関わり方を子供たちに示します。 小集団活動の推進：小集団活動を通じて、ルールや順番を守る経験を積みみます。この活動を通じて、子供たちは協力し合い、コミュニケーションスキルの向上を目指します。 適正な距離感の把握：他者との適切な距離感を保つために、子供たちに適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。			
家族支援	連絡アプリ、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、保護者会の場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。	移行支援	学校や園、関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。		
地域支援・地域連携	のばら学園と交流をしています。	職員の質の向上	虐待防止研修、身体拘束適正化委員会研修、感染症防止研修、安全衛生委員会の実施、不審者訓練、避難訓練、外部・内部研修の実施、療育会議、目標管理制度		
主な行事等	・工場見学 ・おやつクッキング ・お誕生日会 ・季節の行事 ・夏祭り（保護者参加型） ・卒園式（保護者参加型）				